

「すすぎが簡単なハミガキ」が 国際宇宙ステーション搭載の生活用品候補としてJAXAから選定

ライオン株式会社（代表取締役社長・掬川 正純）が提案した「すすぎが簡単なハミガキ」が、2020年12月18日（金）に、国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構（JAXA）による「宇宙生活/地上生活に共通する課題テーマ・解決策のアイデア募集」において、国際宇宙ステーション（ISS）搭載候補品として選定されましたので、お知らせいたします。

◆当社の狙いと提案テーマの概要

宇宙生活では、限られた量の貴重な水を大切に使用するため、“超節水”への対応が求められます。水が入手しにくい状況下で口腔衛生を維持することは、地上においても重要であり、宇宙生活/地上生活共通の課題です。

当社は、サステナビリティの最重要課題の一つとして、「生活環境等の状況に関わらず、誰もが、必要なときに、いつでも、オーラルヘルスケアを行える機会の提供」を2030年の目標に掲げています。宇宙での使用を想定したオーラルケアの技術開発は、宇宙生活だけでなく、地上での生活課題、例えば、あらゆる水不足環境下でのオーラルケアにも繋がります。

そこでこの度、JAXAの生活用品アイデア募集にエントリーし、宇宙に限らず地上を含めて「いつでも、どこでも、誰でも」適切なオーラルケアを実現する方法として「すすぎが簡単なハミガキ」を提案し、国際宇宙ステーション（ISS）搭載候補品として選定されました。

「すすぎが簡単なハミガキ」

国際宇宙ステーションISSでの生活は半年にも及び、その間、宇宙飛行士は毎日食事をし、食後の歯みがきはムシ歯・歯周病予防のために重要です。しかし、水の量が限られるため、ハミガキ剤を飲み込む、またはウエスに吐き出すだけなどやり方に制限があり、人によっては「宇宙での歯みがきは不快感を伴うもの」でした。そこで、ブラッシング後に唾液と一緒に吐き出すだけでも使える「すすぎが簡単なハミガキ」であれば、宇宙生活であっても毎食後の歯みがきが簡単にできると考えました。

本提案は、当社グループが開発した泡状タイプのハミガキの組成を基本とし、すすぎを簡単にするために、①吐き出しやすくするため泡立ちを抑える、②口の中に残りにくい、③味が残りにくく、マイルドな香味（味・香り）のハミガキを提供するものです。

今回の選定により、今後はISS搭載に向け、2021年5月の開発完了を目指します。

◆「宇宙生活/地上生活に共通する課題テーマ・解決策のアイデア募集」

JAXAでは、制約のある宇宙生活のQOL（Quality of Life）を向上させる生活用品のアイデアの募集を2020年7月7日（火）から開始し、2020年12月18日（金）に、選定結果が発表されました。

＜宇宙生活/地上生活に共通する課題テーマ・解決策のアイデア募集内容＞

宇宙飛行士がISSでの生活の中で感じているちょっとした不便や困りごと、工夫などを掘り起こし、これらをベースとしたストーリーなどをまとめた「Space Life Story Book」に基づき、宇宙でのQOL向上にとどまらず、地上であっても生活インフラに制約のある災害時等の課題解決や利便性を向上させることのできるアイデアを募集した。宇宙での生活用品に関するアイデア提案の公募は、今回が初めて。

JAXA 宇宙生活/地上生活に共通する課題テーマ・解決策の結果報告について

https://iss.jaxa.jp/med/partner/71532_result.html

以上

お問い合わせ窓口

ライオン株式会社 〒130-8644 東京都墨田区本所1-3-7

＜報道関係の方＞ コーポレートコミュニケーションセンター 03-3621-6661